

1 募集

自治会やまちづくり協議会など地域を縁とする団体や、NPOや研究会など分野や目的でつながる団体に、真似できそうなことを募ります。



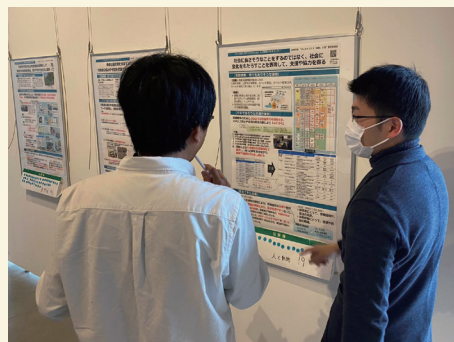
2 ポスター製作

各団体のTTP（てっていきにパくる）が期待される部分を中心にポスターで表現します。



3 公開投票

真似したい団体の取り組みに、TPPしたいかを基準とした投票を行います。



4 交流会・授賞式

参加団体と一般参加者が取り組み内容について自由に話ができる交流会と、授賞式を行います。



参加いただいた団体の取り組みは、多くの方に広くTTPしていただけるよう、ホームページやSNS、リーフレットなどに掲載するほか、各種マスコミにおける宣伝等で情報発信していきます。

協賛：一般社団法人 Do It Yourself

問合せ

ぎふまちづくりTTP大賞実行委員会（旧、ぎふまちづくり「改善」大賞実行委員会）

TEL.058-293-2445（担当／岐阜大学教授 高木朗義）

E-mail／ceip-machi@gifu-u.ac.jp

ぎふまちづくり TTP大賞

（ぎふまちづくり「改善」大賞）



ぎふまちづくりTTP大賞

（旧、ぎふまちづくり「改善」大賞）は、

岐阜で真似したいまちづくりの

仕組みや工夫を勝手に表彰するものです。

表彰された事例は、誰でも真似して大丈夫。

いい事例を積極的に真似していきましょう。

※TTPとは「てっていきにパくる」の略で
いいことをマネするという意味です。

地縁 コミュニティ 部門

まちづくりの 部門は2つ！ 2019年度は 6団体が受賞。

目的 コミュニティ 部門

地域に根付いてまちづくり活動を行う団体が対象の「地縁コミュニティ部門」と、得意な分野や専門的な視点でまちづくりを支える団体が対象の「目的コミュニティ部門」があり、それぞれ公開選考で大賞が決まります。

まちづくり「改善」大賞2019 本郷まちづくり協議会



“掃除”+“楽しい”で、
けやき通りを地域で守
る！そんな新しいこと
をはじめやすくなったの
は、世代交代がうまくで
きたからです！

ここをTTP

地域資源の有効活用と地域役員の 世代交代による活動の一新

①けやき祭り、②市民文化祭、運動会、③生涯学習などを通して、地域資源を活用しながら、地域課題に楽しく取り組んでいます。参画する若い世代が少なく、まちづくり協議会の役員の高齢化が進むため、活動の持続性が課題でした。そんな中、地域役員の世代交代による活動方向の一新が転機となっています。

けやき通りの落ち葉の清掃が追いつかないという困り事に端を発して、「けやき祭り」として、①けやきの落ち葉を集めると福引ができる、②各種イベント、③出店（地域店舗、各種団体に声掛け）を実施しています。結果、活動へ前向きに協力してくれる人が増加して、子どもたちを中心に、今までは無関心だった普段の落ち葉掃除を自然とするようになりました。



公益性を求められる市民活動支 援事業として発信や交流を積み重 ね、協力や寄付を安定的に獲得

学生や若い世帯に地元の歴史を知ってもらい、郷土の誇りとして保存・継承する。そのための研究と情報発信に取り組んでいます。研究内容を市民にPRし、郷土の誇りにつなげる活動として、市民活動支援事業に採択された事が転機となっています。

資料によるPR（リーフレットやマップ、会報、冊子発行、SNSやホームページでの発信）と、活動によるPR（学生と紙芝居を共創、ふるさと検定、作詞作曲、大学生と城下町あるき、武将隊活動、事業者寄付による看板設置）に取り組んだことで、市との連携や学校での発信機会、イベント運営への学生の参画、地域の事業者の寄付金を安定的に得るまでになっています。



まちづくり「改善」大賞2019 黒野城と加藤貞泰公研究会



公益的な事業とす
ることで、研究内容
を市民に発信・交流
する必要性に迫られ、
結果的に、多様な協力
や寄付金の獲得につ
ながったんですね！

ここをTTP

まちづくり「改善」賞2019 京まちづくりの会

地区外に移り住んだ若い世帯も関わりや すい「みこし」や「まつり」で関係人口増加

①ふれあい市場、②夏祭り・盆踊り、③京まち歴史散歩等の資料の発行、④若者との交流に取り組んでいます。事業者の減少で働き口が少なくなり、就業や子育てのために若者が流出しています。そんな中、伝統文化を活かした帰郷のきっかけづくりができています。具体的には、①地区の伝統・文化に関する冊子作成、②ブログやチラシによる地域のイベントや伝統行事の情報発信、③地区内の世帯と流出した若い世帯を中心に送付、④子どもの頃から積極的に地域イベントや伝統行事に参加する風土の醸成です。地域に帰属意識を持つ人が増え、若い世帯の協力も得ています。



ここをTTP

ブログやチラシによる地域イベントや伝統行事の情報発信で、「まつり」のようなきっかけで帰ってきやすい地区に！

まちづくり「改善」賞2019 鏡島まちづくり協議会

地区内の若い世代の育成と 地域を支える学校とのふれあい

①あぶたこづくり、②凧あげ大会、③和太鼓教室、④盆踊りなど伝統文化を核に地域活動に取り組んでいます。活動の担い手の高齢化や、若い世代との関わりが少ないといった課題があります。

そこで、年間を通して複数回、地区内の小中高校との交流機会を設け、住民と児童・生徒とのふれあいの機会を増やしています。具体的には、凧あげ大会に向けた「あぶたこ」づくりや和太鼓教室、盆踊りや清掃活動、マルシェなどがあり、触れ合う機会が多くなることで、親世代、子世代ともに地域で顔のわかる関係や郷土愛が醸成されています。



ここをTTP

地区内の学校と一緒に活動する機会が重層的になっており、お互いが身近になることで協力を得やすくなる！

まちづくり「改善」賞2019 NPO法人 クローバ！

多様な選択肢を提案するため、対象者の 悩みや希望を把握するネットワークを構築

自分のライフスタイルや希望に合った働き方を見つけられるように、参加型のイベントや講座、支援事業に取り組んでいます。多様な選択肢を提案するには、対象者（主婦・ママ）の悩みや希望の把握が必要です。そこで、①登録会員を募り、メールマガジンなどを配信、②マザーズネットワークを構築（岐阜中心に約4,000人）し、主婦・ママのニーズや悩みを情報収集、③ニーズや悩みを踏まえ、多様な選択肢を提案（実際に働ける場も提供）、④SNSなど新しい方法も取り入れつつ、メール配信も継続しています。さまざまな思いに対応し、悩みに寄り添う支援をしています。



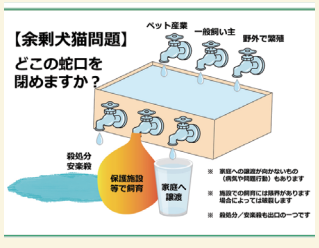
ここをTTP

対象者の悩みや希望を把握できるネットワークを構築しているからこそ、本当に必要とされる選択肢を提案できる！

まちづくり「改善」賞2019 NPO法人 人と動物の共生センター

社会に良さそうなことをするのではなく、 社会に変化をもたらすことを表現して、 支援や協力を得る

余剰犬猫問題の解決に向け、①適正飼育、②野外犬猫繁殖、③ペット防災、④ペット産業CSR、⑤ペット後見に取り組んでいます。しかし課題が発生し続けるため、対処するだけでは問題解決（社会の変化）には至りません。そこで、①活動や事業でどんな社会を目指すか、②どうしたらそんな社会を実現できるか、③そのために活動や事業で獲得したい成果、④そのための活動や事業、⑤そのための資源（あるもの＆獲得したいもの）を見える化しました。これにより、賛助会員の増加や、スタッフ間の相互理解、資源配分が改善しました。



ここをTTP

どのような社会変化を目指すかをスタッフ同士や会員の意見交換で「みえる化」して、支援や協力の意義が明確に！